

「みんなで作る快・適なまち！」 千葉市がめざすスマートシティ



2022年12月
市長と語ろう会

都市や地域が抱える諸課題の解決を行い、または価値を創出し
続ける持続可能な都市や地域

ICT等の新技術や官民各種のデータ活用による

市民一人一人に寄り添ったサービスの提供

各種分野におけるマネジメント(計画、整備、管理等)の高度化など

【出典】スマートシティガイドブック(内閣府等)

(1)スマートシティに取り組む背景

本市は、将来予想される重要な社会変化に対し、持続可能なまちづくりを進めるため、急速に進展するテクノロジーと、これまで培ってきたICT活用に関するノウハウを最大限に活かし、地域とともに「スマートシティの実現」を目指します。

千葉市を取り巻く重要な社会変化 (今後直面する社会変化)

✓ 人口減少・少子高齢化

- 高齢化率は2055年に約4割まで上昇見込み
- 高齢者の増加に伴う社会保障費の増大
- 生産年齢人口の減少に伴う税収減

✓ 地球温暖化に伴う気候変動リスク

- 自然災害の深刻化・頻発化など市民生活に甚大な被害が発生(電力・通信インフラへの影響)
- 気温や海水温・海面水位のさらなる上昇

✓ 大地震の発生による被災リスク

- 政府は、本市を含む南関東地域でマグニチュード7クラスの地震が発生する確率を、今後30年間で70%程度と推測

✓ 新型コロナウイルス等の感染症リスク

- ポストコロナ社会の到来
- デジタル化の急速な進展。経済活動・社会活動におけるサイバー空間(仮想空間)の活用の加速

✓ 公共インフラの老朽化

- インフラの老朽化が一層進行し、更新時期を迎えるインフラが多数発生
- インフラの更新に莫大な費用が発生

スローガンは…

こちよく

ちようどいい

みんなで作る「快・適」なまち！



ポイント

1 個別最適 … あらゆる市民が自分に最適な暮らしを実感

- ・テクノロジーの活用などにより、多様な選択ができる
- ・一人ひとりが自分にあったサービスを受けられる

ポイント

2 全体最適 … 自然環境に配慮し、大切な資源を活かした、持続的な発展

- ・自然環境に配慮した持続可能なまちづくりが必要
- ・限りある時間・空間・その他の資源を賢く有効に利用

ポイント

3 市民中心 … 様々な主体が、地域の課題解決、新たな価値を創造

- ・市民とともに取り組むことでニーズを反映した解決を図る
- ・民間企業等のテクノロジーを活用し、新たなサービスを創出



【イメージ動画】スマート家の一日(約1分)

(3) 取組みの方向性 ～5つのスマート～

目指すスマートシティの実現に向け、あらゆる分野を市民(利用者)目線で

1. 暮らしがスマート!

2. ビジネスがスマート!

3. 学びがスマート!

4. まちがスマート!

5. 市役所がスマート!

上記の5つに分類し、市民ニーズや地域課題に基づく様々な取組みを分野横断的に順次実施していきます。

目指す姿

あらゆる市民が
場所や時間を問わないサービス、活発なコミュニケーションに
よって、健康な生活、充実した生活を得られる

サービスイメージ



シェアリングエコノミーの推進



多言語による情報発信・
相談対応の強化



ヘルスケアデータ分析を
活用した保健指導



キャッシュレス決済



本市の取組例

実証実験中

ウェアラブル端末の装着により収集されるデータを活用した特定保健指導

特定保健指導の対象者に腕時計型のウェアラブル端末を装着していただき、日々収集されるバイタルデータに基づく特定保健指導を行うことによる健康面への効果や、特定保健指導の実施率向上への効果を検証する実証実験を実施しています。

【実証期間】

令和4年8月～令和5年2月(予定)

【使用するウェアラブル端末】

Fitbit

【対象者】

国民健康保険の特定保健指導
対象者(希望者のみ)



参加者募集 健康サポート(特定保健指導)のご案内
令和4年度の健診結果より健康サポートが必要な方にお送りしています

さあはじめよう！ 生活習慣改善プログラム

参加者の声

Fitbitを装着してから、歩数や消費カロリーがわかり、運動が楽しくなりました。

Fitbitで歩数や消費カロリーがわかり、「一人じゃ無理」とやっていたのが、やってみると楽になりました。

大満足！ やっばりいいね。

健康サポート(特定保健指導)とは？
健診結果から、生活習慣病の発症リスクの高い方を対象に、管理栄養士や保健師などの専門職があなたの生活習慣改善に向けたサポートをします。また、ウェアラブル端末を装着し、アプリで自分の行動をモニタリングしながら改善に取り組みます。(費用は無料)

特長

- 【機能一部紹介】
- 歩数測定
- 心拍測定
- 睡眠の質の測定
- 運動(ラン・水泳・自転車など)

使用機種はこちら
フィットビット インスパイア 2
Fitbit INSPIRE 2

※プログラム終了後もそのままご自身でお使いください

目指す姿

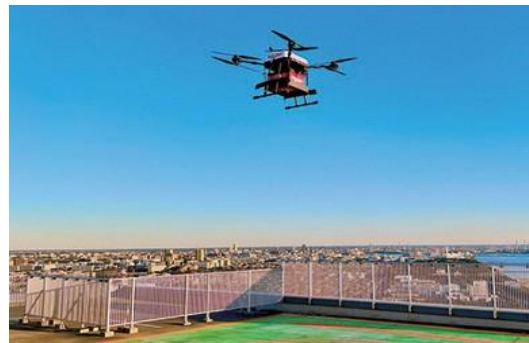
あらゆる人材が、活躍できる多様な就労環境のもと

- ・働く人が、仕事と生活のバランスを保ち、やりがいや向上心をもって働く
- ・事業者が、新しい価値の創出や生産性の向上を実現

サービスイメージ



RPA、ロボット等の導入による負担軽減



積極的な技術・アイデア導入
社会ニーズに対応した産業創出



就業時のマッチング支援
多様な人材の社会進出促進



テレワークの促進や
柔軟な勤務体系



本市の取組例

実施中

スマート農業の推進

高齢化に伴う農業経営者の減少や農地が年々減少の傾向にあることを踏まえ、テクノロジー等の活用により、多様かつ意欲ある担い手の出現による活力ある農業の実現をはじめ、先端技術を用いた省力化・効率化された農業の実現等を目指し、スマート農業を推進しています。

● 農政センターの機能強化

市内農業者が新たな技術に触れ、体験できる場としてリニューアル



● データを駆使した農業経営の支援

農業データを総合的に見える化し、農業者の経営をサポート



● スマート農業技術導入支援

ICTやロボット技術を活用した機器や農業機械の整備などに対する支援



目指す姿

あらゆる市民が、

- ・時間や場所を問わず、多様な方法で、生涯にわたり個々に応じた質の高い学びに取り組むことができる
- ・千葉市に対して愛着を持ち、郷土について学ぶことができる

サービスイメージ



オンライン学習などICT技術の活用
・デジタルデバイドの解消



生涯学習に関する
情報提供の充実



データを活用した指導・
学習コンテンツの充実



文化財のデジタル化
による保存・活用



本市の取組例

実施済

デジタルミュージアム

新型コロナウイルス感染症拡大に伴う、新しい生活様式に根差した取組みの一環として、文化芸術の魅力と最新のテクノロジーを組み合わせ、より多くの方に安心して文化芸術を楽しんでいただけるよう、千葉市美術館においてデジタルミュージアムを開催しました。

【開催期間】

令和3年1月～令和3年2月

【開催場所】

千葉市美術館1F さや堂ホール

【題材作品】

千葉市美術館所蔵の浮世絵(5作品)

【展示作品例】

- ・ムービングアート
体の動きによって絵画が動いているように見えます。
- ・空中映像
液晶パネルを操作することなく、絵画の拡大等ができます。



目指す姿

あらゆる市民が、

- ・暮らしを支える充実した基盤のもと、安全・安心な生活を送ることができる
- ・環境にやさしく、緑や水辺と調和した、千葉市の魅力を感じる

サービスイメージ



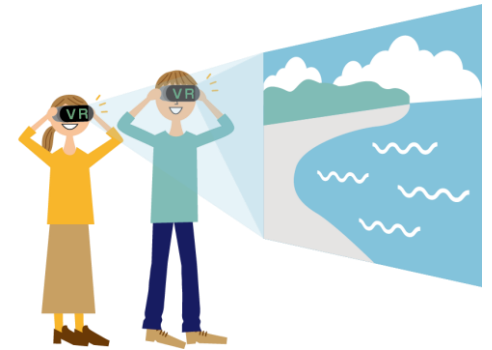
MaaS、次世代モビリティサービス



カメラやAIを用いた
危険箇所の把握



脱炭素社会に向けた
再生可能エネルギーの活用



地域の魅力の再発掘・
磨き上げ



本市の取組例

実証実験中

幕張新都心版MaaS社会実装サポート事業

- ・MaaS(マース)とは、複数の公共交通やそれ以外の移動サービスを最適に組み合わせる検索・予約・決済等を一括で行うことができるほか、交通以外のサービス等とも連携するなど、利便性の向上や地域の課題解決に資するサービスです。
- ・2023年春に予定されている「幕張豊砂駅」の開業に合わせたサービス実現を目指し、民間事業者等による社会実装を見据えた実証実験を支援します。



※交通手段や事業者名は一例です。

(3) 取組みの方向性 4. まちがスマート！ ③

【サービスコンセプト】

✓ 自分の関心・状況に合った情報が「今欲しい！」タイミングで届く



割引券 期間限定!

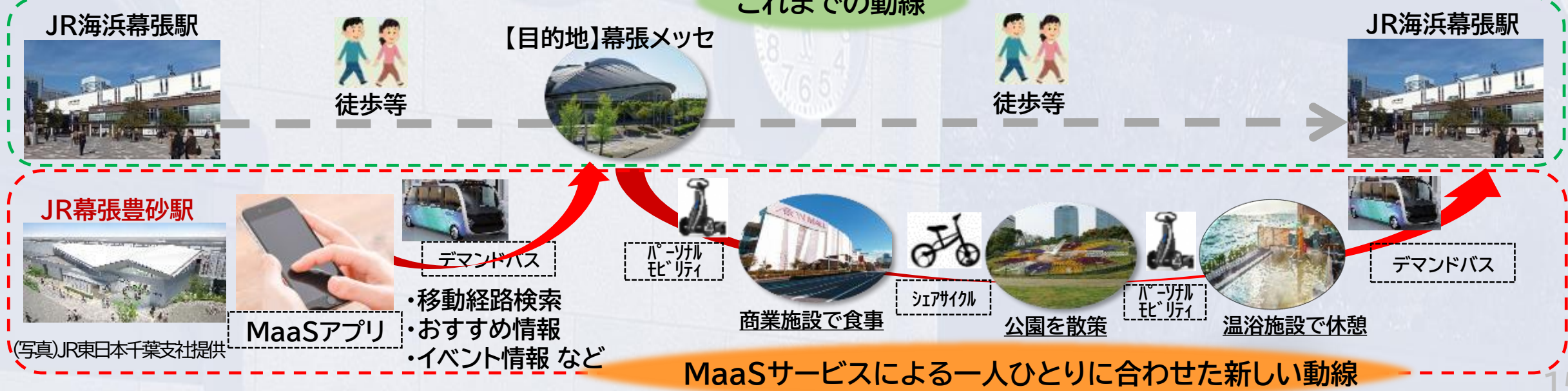
✓ 街のイベント情報やお出かけ情報が一目で分かる！



✓ 多様な地域交通を含む経路検索、シームレスな移動体験



【サービスイメージ(例)】



本市の取組例

実施中

避難所への太陽光発電設備・蓄電池の設置

平時における市有施設の温室効果ガスの排出抑制と、災害時における避難所の電力を確保することを同時に実現するため、発災時の生活維持拠点となる避難所(小中学校・公民館)に、太陽光発電設備と蓄電池の設置し、再生エネルギーの活用による電源バックアップ機能の強化を進めています。

【整備期間】 令和2年度～令和4年度

【設置場所】 避難所(小中学校・公民館) 182か所

【特徴】国庫補助金の活用や民間事業者との連携により、千葉市の追加負担なく事業化を実現(設備の設置・維持管理・撤去まで、すべて事業者が負担)



太陽光パネル



蓄電池・パワーコンディショナー等

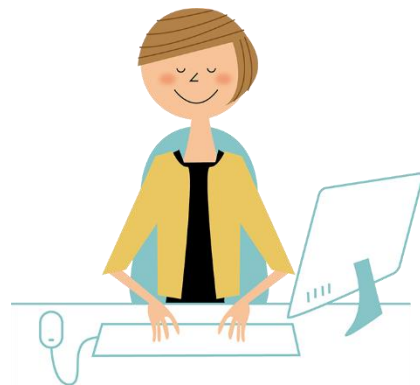
目指す姿

- ・市民を中心とした多様な主体が市政に参画し、共に公共サービスを創り、地域課題を解決することができる
- ・一人ひとりのニーズに合わせた公共サービスを選ぶことができる
- ・市役所は、積極的にスマートシティの実現をリードする

サービスイメージ



ICTを活用した情報共有



サービスのオンライン化



プッシュ型サービス・
対話型サービス



市政に関する情報への
接触機会の向上



本市の取組例

実施中

ICTを活用した情報共有

「市民全員参加のまちづくり」や「時間を返す」市民サービスの一環として、ICTの活用による情報共有を進めています。

ちば市民協働レポート「ちばレポ」



地域で起きている様々な課題を、スマホ等を使って市民がレポートすることで、市民と市、市民と市民の間で課題を共有し、合理的・効率的に解決することを目指すサービスです。

【取組の趣旨】

- ・まちづくりへの協働意識の高まり
- ・いつでもどこでも誰でも行政・市民と共有可能
- ・行政の業務処理の効率化

区役所窓口混雑状況配信サービス

混雑状況	
住民異動（転出・転入など）	
最終呼出番号	1036
次回呼出予定番号	1037
待ち人数	1人
待ち時間	4分
保留人数	1人
戸籍届出（離婚・出生など）	
最終呼出番号	2224
次回呼出予定番号	2225
待ち人数	3人
待ち時間	12分
保留人数	0人
マイナンバー・公的個人認証	
最終呼出番号	3004
次回呼出予定番号	3005

パソコンやスマートフォンから、区役所窓口(市民総合窓口課)の待ち人数や時間、呼び出し中の番号をリアルタイムで表示したり、窓口の呼び出し順が近づいたらプッシュで通知するサービスです。

【プッシュ通知先】 LINEもしくはEメール

- 【取組の趣旨】
- ・区役所滞在時間の最小化
 - ・来庁者の分散化による混雑回避

本市の取組例

実施中

市役所への手続きのオンライン化

市役所への手続きは、市役所の開庁時間に窓口に行く必要があるなどの課題に対応し、「行かなくていい、待たなくていい、使いやすい市役所」の実現を目指し、市役所への手続きのオンライン化を進めています。現在、年間手続件数の約8割に相当する手続がオンラインで可能となっています。

ちば電子申請サービス



本市では、主に「ちば電子申請サービス」によりオンライン申請を受け付けています。パソコンやスマートフォンからご利用いただけるサービスです。

https://s-kantan.jp/city-chiba-u/offer/offerList_initDisplay.action

【オンラインで申請可能な主な手続】

- ・住民票の写しの交付申請
- ・戸籍謄抄本の交付申請
- ・転出届
- ・印鑑登録証明書の交付申請
- ・戸籍の附票の写しの交付申請
- ・千葉市立学校への欠席遅刻連絡 など

本市の取組例

実施中

「あなたが使える制度お知らせサービス～For You～」の提供

各種手当の受給や健康診査などの利用について、市民の皆様が自ら検索や問い合わせを行う負担を軽減するため、市が保有する住民情報を活用して、各制度の受給対象者となる可能性のある方に対し、LINEのメッセージにより個別にお知らせすることで、受給漏れの防止を図るサービスです。

Before



子どもの予防接種を忘れてた！
調べる時間もないし、
何とかならないの!?



父子家庭で金銭的に余裕がない。
仕事・家事・子育てと時間の余裕
もないし、どうすれば…

After

あなたのLINEアカウントへ
各種制度をプッシュ型でお知らせ！



千葉市公式
アカウント

千葉市です。
お子さんが〇〇の予防接種を受診できる
月齢となりました。詳しくは、
ホームページをご確認ください。

千葉市です。
あなたは児童扶養手当を受給できる
可能性があります。〇〇区こども家庭課
までご相談ください。

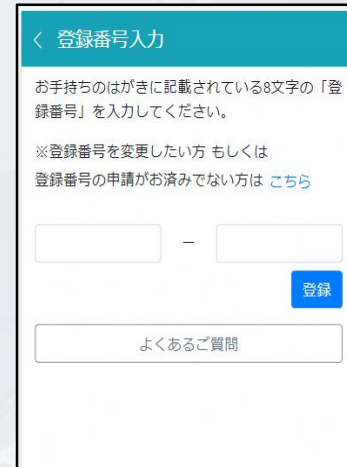
【サービス登録方法・手順】



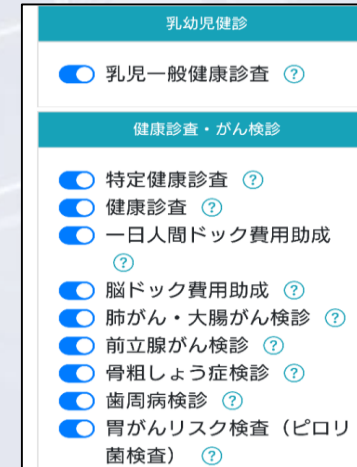
①千葉市公式LINEから「**お知らせサービス**」を選択



②「**登録番号申請**」を選択。後日、千葉市より登録番号を記載したはがきが届いたら、「**利用登録**」を選択し、利用規約に同意



③はがきに記載されている登録番号を入力して登録



④お知らせを希望するサービスを選択し、完了

【通知対象制度】 26制度(令和4年10月末時点)

乳児一般健康診査、一日人間ドック費用助成、肺がん・大腸がん検診、骨粗しょう症検診、水痘(水ぼうそう)予防接種、二種混合(ジフテリア・破傷風)予防接種、心身障害児福祉手当、児童扶養手当、ひとり親家庭等医療費助成、母子・父子・寡婦福祉資金、水道料金の減免 など

<https://www.city.chiba.jp/somu/joho/kaikaku/documents/oshirasegaiyou2022.pdf>

デジタルデバイド対策

社会のデジタル化を進めるなかで、デジタルを使いこなせる方々と、そうではない方々の「デジタル格差」(デジタルデバイド)が生じています。誰もがデジタル化の恩恵を享受できる社会の実現を目指し、デジタルについて学び、利用することへの不安解消に向けて、学びの機会の提供等のデジタルデバイド対策を進めています。



【目指す姿】

民間事業者や国等との連携により高齢者などが身近な場所でスマホの使い方を相談できる重層的なサポート体制の構築

【実現に向けた取組み】

- ・スマートフォン教室の開催
- ・スマートフォン相談会の開催



初心者向けスマホ講座(イメージ)

社会保障・税番号(マイナンバー)制度

【マイナンバー制度とは】

- ・日本国内の全住民に通知されている12桁の番号
- ・個人情報の名寄せをしやすくし、税や社会保険料の徴収、給付を適正化



【利用分野】

社会保障関係の手続き	<ul style="list-style-type: none">・年金の資格取得や確認、給付・雇用保険の資格取得や確認、給付・医療保険の給付の請求・福祉分野の給付、生活保護 など
税務関係の手続き	<ul style="list-style-type: none">・確定申告書、届出書、法定調書などに記載・都道府県・市町村に提出する給与支払報告書などに記載
災害対策	<ul style="list-style-type: none">・防災・災害対策に関する事務・被災者生活再建支援金の給付・被災者台帳の作成事務

マイナンバーの活用により行政間で情報連携を行うことが可能となり、適切かつ迅速な支援や給付、行政手続きの申請の簡略化などができるようになります。

【行政手続の申請時に省略可能な添付書類の例】

申請項目	申請先	省略可能な書類
公営住宅の入居申請	都道府県・市区町村	住民票 課税証明書 生活保護受給証明書
児童扶養手当の申請	市区町村	住民票 課税証明書 特別児童扶養手当証書
生活保護の申請	都道府県・市区町村	課税証明書 雇用保険受給資格者証 児童扶養手当証書 特別児童扶養手当証書
奨学金の申請	日本学生支援機構	生活保護受給証明書 雇用保険受給資格者証

(4) サービス実装の進め方

1 地域課題・市民ニーズの把握

- ・ 市内・市外からの課題提起
 - ・ 民間企業や学術機関等からの提案
- 地域課題と民間企業等の保有する技術等とのマッチング



2 プロジェクト検討体制の構築

- ・ 市民、民間企業、学術機関、行政などによるプロジェクト検討体制の検討
 - ・ サービス内容の検討
- 多様な主体によるサービス検討



3 サービスの実証・実装

- ・ 実証実験の実施
 - ・ 実証結果の検証・評価、サービス改善
- サービスの実装

例) 千葉市動物公園における来園者予測等の実証



混雑状況



混雑予測

スマートシティプロジェクトとは

スマートシティ推進ビジョンの実現に向けて、現時点で予定している具体的な取組みをまとめたパンフレットです。2022年3月に「スマートシティプロジェクト2022」を発行し、全28プロジェクトを掲載しています。 ※スマートシティプロジェクトは毎年度更新します。



【プロジェクトの内訳】

暮らしがスマート！関連……4プロジェクト
ビジネスがスマート！関連……5プロジェクト
学びがスマート！関連……5プロジェクト
まちがスマート！関連……10プロジェクト
市役所がスマート！関連……4プロジェクト
計 28プロジェクト

多文化共生社会の実現

現状と課題

外国人市民の増加、
ニーズへの対応の複雑化



言語の多様化や外国人市民の
ニーズへの適切な対応が必要

- 多言語による各種情報の提供、相談対応
- 行政手続きの多言語化、オンライン化
- 日常生活における通訳ニーズへの対応
- 災害時、非常時の外国人市民支援

目指す姿

ICTの活用により、
多言語による
情報発信・相談対応を強化



国籍を問わずすべての
外国人が滞在しやすい、
暮らしやすいまちに

実現に向けた取り組み

- 市・国際交流協会HPの多言語化を行うとともに、外国人市民からの問合せに対して、多言語AIチャットボットなどで対応
- 行政手続フォーマットの多言語化
- 多言語音声翻訳アプリやビデオ通話アプリを活用したタブレット端末などによる窓口サービスなどの充実
- 新たな国際交流ボランティア制度の検討、多言語コールセンターによる三者通訳対応
- ビッグデータを用いて外国人の利用が多いエリアを時間や言語ごとに解析し、行政・生活情報の効果的な発信や災害ボランティア派遣に活用

ロードマップ

令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)	令和7年度 (2025年度)	令和8年度 (2026年度)
-------------------	-------------------	-------------------	-------------------	-------------------

検 討

モデル実施

実 施

ICTの活用による救急業務の効率化

現状と課題

- 救急出動件数は救急業務開始以来、継続的に増加 ※2055年頃をピークと予測
- 救命率の向上を図るため、救急隊の現場到着や病院収容までの時間短縮が必要

ICT活用による
救急業務を効率化

目指す姿

ICT活用による
受入れ先の医療機関との
迅速なマッチング

AIによる
予測診断結果を適切な
搬送先の選定に活用

市民に迅速かつ質の高い
病院前救護サービスを提供



実現に向けた取組み

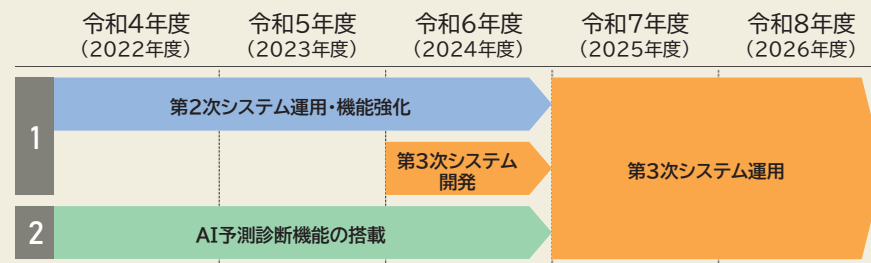
1 救急情報システムの運用及び機能強化

救急隊の端末で傷病者情報を音声認識により迅速に文字化し、搬送先候補の医療機関端末に一斉送信・照会することで、搬送先を迅速に決定するほか、利用者の意見を踏まえて機能強化を図る。

2 AI活用による予測診断の実施

システムに入力した傷病者の情報を元に、AIが予測診断を行うことで、救急隊がより適切な搬送先医療機関を選定可能となり、救急業務の効率化に貢献

ロードマップ



ドローンの実用化推進

現状と課題

- 物流、点検、農業、警備業務などの人材不足
- 令和4年度に予定される改正航空法(第三者上空飛行)を踏まえた対応



国家戦略特区としての優位性を活かしたドローン社会実装、実用化の推進



ドローンによる新ビジネス創出を支援し「空の産業革命」ドローン産業の一大集積地「千葉市」を目指す！



実現に向けた取組み

- ドローン宅配サービスの社会実装**
1 改正航空法を踏まえ、長距離飛行や配送実証など、社会実装に向けた取組みを加速させる
- ドローン利活用促進**
2 行政、民間企業の業務効率化のため、課題抽出や市内企業とドローン関連事業者のマッチングを進める
- 施策の横展開**
3 上記取組みをセミナーなどにより、全国の自治体、企業へ広げること、ドローン産業の振興を図る

ロードマップ

	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)	令和7年度 (2025年度)	令和8年度 (2026年度)
1	検討・実証				実施
2	検討・実証・実施				
3	実施				

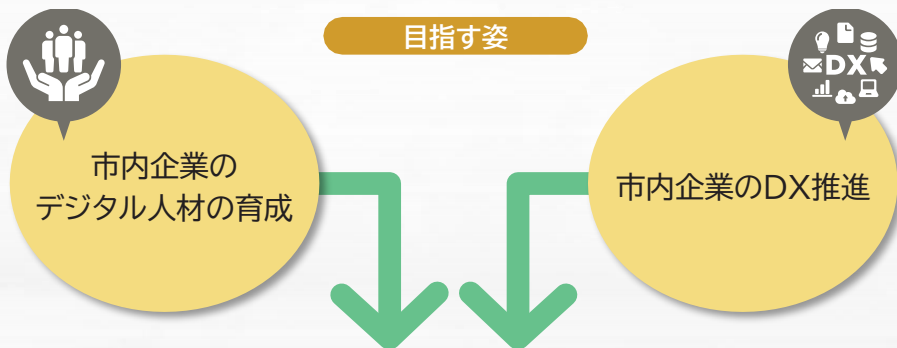
安定的・発展的な経済活動への支援(市内企業のDX推進)

現状と課題

- 新たな感染症リスクへの備えが必要
- あらゆる分野においてデジタル化が浸透・進展



将来の大きな社会変化に対しても
力強く成長する事業者を支援



時代の潮流に乗って
安定的・発展的にビジネスを
展開できるまちの実現



実現に向けた取組み

市内企業のDX推進支援

- 1 市内企業の業務効率性・生産性の向上の観点から、AIやRPAの導入など、市内企業によるDXの取組みを支援

市内企業のデジタル人材育成支援

- 2 市内企業のDX化を加速させるデジタル人材の育成を支援



ロードマップ

	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)	令和7年度 (2025年度)	令和8年度 (2026年度)
1	支援実施				
2		支援実施			

電子図書館(Digital library)の構築

現状と課題

窓口業務などの効率化



先進技術を活用した利便性の高いサービスの提供

新型コロナウイルス感染拡大



新たな生活様式に対応したサービスの提供



目指す姿

手続の簡素化

インターネットによる
デジタル情報収集
(ポーンデジタル等)

来館せずに
本の貸出・返却

24時間
問合せが可能

いつでもどこでも
利用登録

実現に向けた取組み

- 1 インターネットによる利用登録(電子申請)
- 2 自動貸出機の導入
- 3 AIチャットボットの導入
- 4 地域情報のデジタル化推進
- 5 電子書籍の充実



ロードマップ

	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)	令和7年度 (2025年度)	令和8年度 (2026年度)
1			実施		
2	検討			実施	
3		検討		実施	
4			実施		
5			実施		

個別最適化された学びの実現

現状と課題

Society5.0社会の進展、グローバル化の加速



多様な人々と協働しながら主体的に考え、行動できる力の育成

子どもを取り巻く環境の変化



すべての児童生徒の可能性を最大限引き出す学習環境の整備

目指す姿

学力状況の的確な把握

個別最適化された学びの実現

先進技術を取り入れた授業展開

多様な学習形態の選択・工夫

- 科学的視点と教員の経験知のベストミックス
- 個々の能力などに対応したオーダーメイド型教育
- 効果的・効率的な授業(わかる授業)の展開
- 学習のハイブリッド化(対面⇔オンラインなど)



実現に向けた取組み

- 1 オンライン授業の展開(ゲストティーチャーなどの活用)
- 2 意見・回答の即時共有を通じた効果的な協働学習
- 3 指導者用デジタル教科書の整備
- 4 児童生徒の状況のセンシングなどによる把握
- 5 知識・技能の定着を支援する個別最適ドリル
- 6 学習ログの蓄積・活用

ロードマップ

	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)	令和7年度 (2025年度)	令和8年度 (2026年度)
1	試行実施	実施	実施	実施	実施
2		実施	実施	実施	実施
3		検討・準備	検討・準備	実施	実施
4		調査・研究	調査・研究	調査・研究	調査・研究
5		調査・研究	調査・研究	調査・研究	調査・研究
6		調査・研究	調査・研究	調査・研究	調査・研究

災害対応の適正化・効率化・迅速化

現状と課題

- 1 地球温暖化の影響による気候や自然災害の多様化 → 避難指示などの発令に必要な情報の複雑化
- 2 少子高齢化の進行 → 地域の災害対応力が低下
- 3 大規模災害発生時の職員不足懸念

目指す姿

適切かつ迅速な災害対応が可能に



実現に向けた取り組み

- 1 避難指示などの発令に必要な情報をAIが分析し、自動的かつ迅速な避難指示などを発令
- 2 防災に関する教育やイベントをオンラインで開催し、一人ひとりの災害対応力を向上
防災団体間のオンライン交流により、好事例を共有
- 3 職員の参集時間短縮を目的とする、AIを活用した災害対応職員の適正配置
り災証明業務や避難所開錠、被害報告作成などの自動化



ロードマップ

	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)	令和7年度 (2025年度)	令和8年度 (2026年度)
1	検討	モデル実施	実施		
2					
3					

インフラなどの維持管理の効率化及び安全対策の強化

現状と課題

道路・上下水道施設などの安全点検の高コスト化や技術者不足、老朽化の進行に伴う点検・管理業務の増加

気候変動に伴う局地的な大雨や暴風雨の発生頻度の上昇に伴う災害の激甚化のおそれ(道路・橋梁・河川などの安全確保)



- インフラへの先端技術の活用により
- 維持管理の高度化・省力化・省人化
- 事前検知による安全対策の強化

目指す姿

時代の潮流に合わせた
インフラ維持管理の最適化による生産性の
向上・安全なまちづくりの実現



ドローンやAI
(画像解析技術など)の
活用による
インフラの維持管理



センサー・カメラと
AIを組み合わせ、
インフラの異常や危険を
自動検知



実現に向けた取組み

安全点検におけるドローンやAIの活用

1 明らかに目視確認が必要なインフラを除き、ドローンが撮影した画像をAIが解析し、その結果を踏まえて修繕を判断するなど、省力化・省人化を実現

センサーやカメラの活用による安全対策の強化

2 平時や災害時におけるインフラの状況を監視し、被害の最小化や迅速な市民周知を図るため、必要性の高いインフラから順次センサーや監視カメラを設置するとともに、AIの併用により異常や危険を自動検知するなど、安全対策を強化

ロードマップ

	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)	令和7年度 (2025年度)	令和8年度 (2026年度)
1			検討・実証・実施		
2			検討・実証・実施		

行かなくていい、待たなくていい、使いやすい市役所の実現

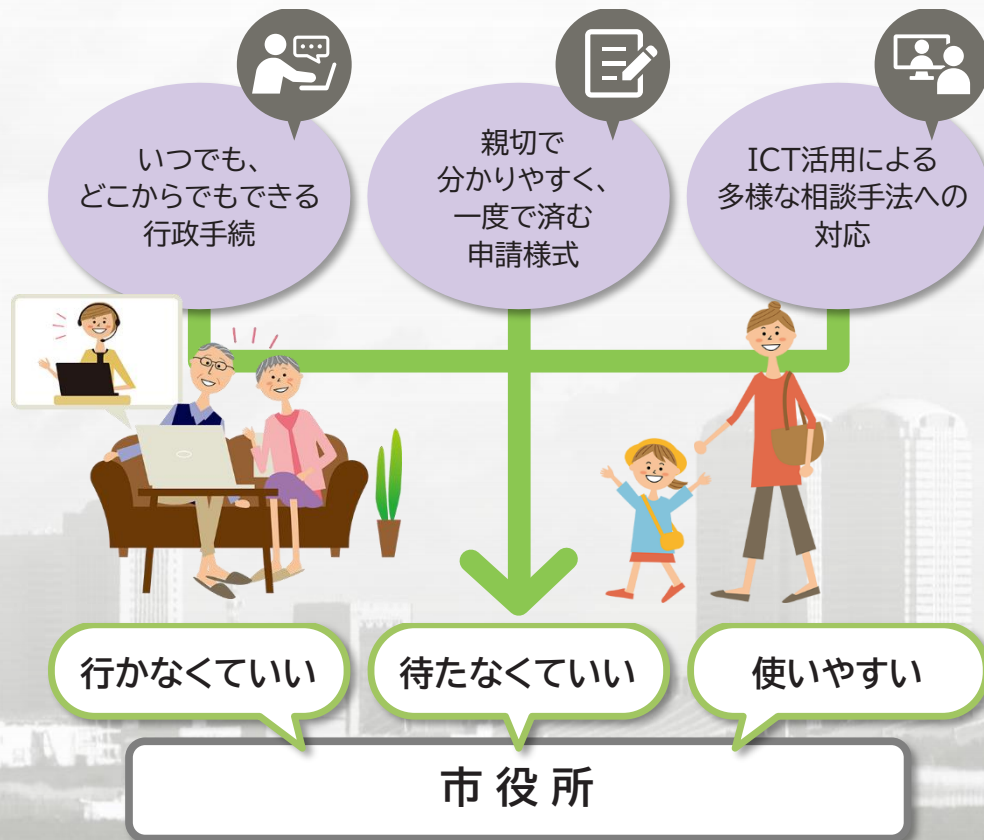
現状と課題

市民が市役所に
合わせなければ
ならない

- 市役所の指定する場所と時間でなければ手続きできない
- 窓口での丁寧な説明などのサービスを希望する市民は、窓口で待たなければならない
- 窓口での説明が不要な市民でも、窓口に行かなければならない
- 申請書の様式がばらばらで分かりにくい



目指す姿



実現に向けた取組み

- 1 **いつでも・どこからでも・簡単にできる行政手続**
 - 従来の窓口に加え、オンラインでも申請ができる手続を拡大し、市民や事業者がいつでも、どこからでも様々な手続ができる環境整備を進める
 - 市民や事業者にとって親切で分かりやすい申請様式を準備し、デジタル処理を前提とした、一度で、簡単に手続が行える環境整備を進める
- 2 **市役所に行かなくても相談などが可能に**
 - デジタル技術を活用し、市役所に出向くことなく、市民や事業者と市との様々な相談などが可能となる環境整備を進める

ロードマップ

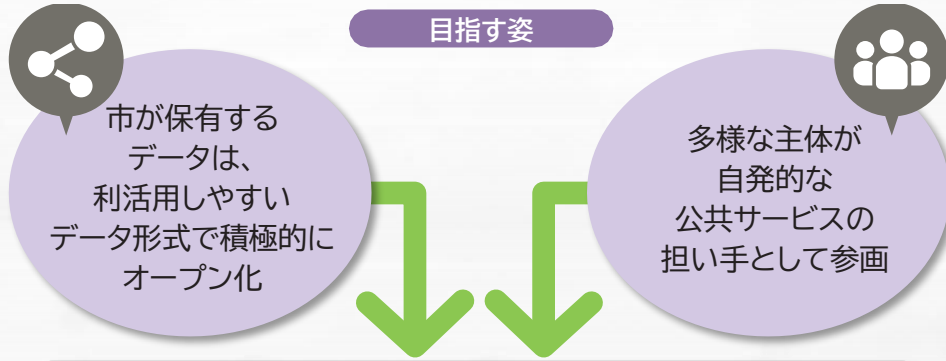
	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)	令和7年度 (2025年度)	令和8年度 (2026年度)
1	申請様式の順次検討、オンライン申請の運用・拡大				
2	運用・拡大				

データ活用を通じた多様な主体との協働の推進

現状と課題

- 複雑化する社会において、市民ニーズは多様化・高度化し、行政だけでは対応が困難な状況に変化
- 地域課題の解決には、多様な主体の参画が不可欠であり、更なる協力体制の構築が必要である
- 市が公開するデータのファイル形式などが利活用に適しておらず、多様な主体による利活用が進んでいない
- 多様な主体が必要とする市保有データが公開されていない

目指す姿



- 市と多様な主体とが連携することで、市民ニーズに対応した公共サービスが提供される
- 新たな産業やサービスが創出され、市民の利便性が向上する



実現に向けた取組み

1 市保有データのオープン化などの推進

- 市が保有する情報を積極的に公開し、そのままでは、公開できない情報についても適切な加工をした上での提供を検討することにより、データ利活用を推進する
- データ利活用に適したファイル形式や標準的なフォーマット仕様を検討し、推進する

2 シビックテック団体などとの連携

- シビックテック団体や企業、他の地方公共団体などとの連携により、オープンデータの具体的な活用策を検討し、活用事例を増やす

ロードマップ

	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)	令和7年度 (2025年度)	令和8年度 (2026年度)
1	検討・可能なものから随時実施				
2	連携・推進				

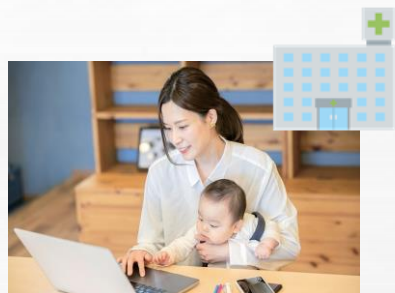
(6) より便利で快適なサービスの創出に向けて①

多様なスマートシティサービスは、特定の課題等を解決するために創出されるものですが、それぞれのサービスで活用しているデータを連携することで複合的なサービスとなり、より便利で快適に利用することが可能になります。本市もスモールスタートからのステップアップを目指し、将来的な複合サービスの創出を目指します。

一般的なサービス



モビリティの
インターネット配車予約



医療機関の
インターネット受診予約



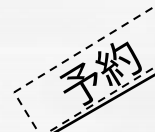
キャッシュレス決済

各サービスが個別
に提供されている

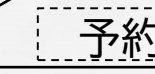
複合的なサービス (イメージ)



複合アプリケーション



予約したモビリティで
医療機関まで移動



予約した時間に
医療機関を受診



キャッシュレス決済で
全ての支払いが1回で完了

1つのアプリケーションで
予約から支払まで完結

より便利で快適なサービスの創出(データ連携)に当たっては、行政のみならず、市民の皆様をはじめ、民間事業者や学術機関、市民団体等の幅広い主体の連携・協力が必要です。

それぞれが保有する知見やデータ、アイデア等を出し合いながら検討を深めていくことで、より便利で快適な複合的サービスの創出が期待されます。

【各主体に期待される役割】

市民・市民団体

- ・地域課題・市民ニーズの提供
- ・双方向型の積極的な取り組みへの参画
- ・積極的なサービス利用・フィードバック

民間企業

- ・実装を前提としたサービス開発・実証
- ・汎用的で持続可能なサービス設計
- ・技術や知見の提供

学術機関

- ・学術的・専門的知見の提供
- ・学生の積極的な取り組みへの参画
- ・最先端研究の実証

行政

- ・スマートシティの方向性の提示
- ・プロジェクトの全体調整・運営
- ・国等との調整

